

祝 辞

「松江暁の星幼稚園 創立50周年に寄せて」



カトリック広島教区

司教 アレキシオ 白浜 満

松江暁の星幼稚園の創立50周年に当たり、関係者の皆様方に、心からのお祝いを申し上げます。

カトリック松江教会に隣接する暁の星幼稚園で、半世紀にわたって、地域の子どもたちのために保育事業が行われてきたことに、神様の恵みと導き、また、この幼稚園の運営に携わって来られた方々の愛と熱意を強く感じます。創立50周年という節目の時に当たり、改めて神様に感謝をささげると同時に、歴代の関係者の皆様方に、心から厚く御礼申し上げます。そして、松江暁の星幼稚園におけるカトリックの教育精神に理解を示し、大事な子どもたちをこの幼稚園に送ってくださった保護者の皆様方にも、心から感謝申し上げます。幼稚園における園児の保育事業は、一人ひとりの子ども的人格形成に大きな影響を及ぼす重要な活動であり、幼児期において、御子イエスを人類の救い主として遣わされた神様の愛に触れさせることは、大きな意義を持つ宗教教育ではないかと思えます。

聖書の中に、次のようなエピソードがあります。

イエスが座り、十二人を呼び寄せて言われた。「いちばん先になりたい者は、すべての人の後になり、すべての人の仕える者になりなさい。」そして、一人の子どもの手を取って彼らの真ん中に立たせ、抱き上げて言われた。「わたしの名のためにこのような子どもの一人を受け入れる者は、わたしを受け入れるのである。わたしを受け入れる者は、わたしではなく、わたしをお遣わしになった方を受け入れるのである。」

(マルコ9・35～37)

一人ひとりの子どもに丁寧に寄り添うためには、しばしば心の繊細さと忍耐が必要とされます。しかし、そのことは、将来の社会を担う立派な人間を育てようとする神様の隠れた謙遜な愛の心に通じる尊い奉仕です。カトリック松江教会に隣接する松江暁の星幼稚園が、ますます地域の子どもたちの「心のふるさと」となって、神様の存在とその大きな愛を感じさせる学び舎になりますよう、「暁の星」である聖母マリアの取次ぎを願いたいと思えます。

この松江暁の星幼稚園で学んだすべての子どもたちと保護者の皆様の上に、神様の豊かな祝福を祈りつつ、創立50周年の祝辞に代えさせていただきたいと思えます。